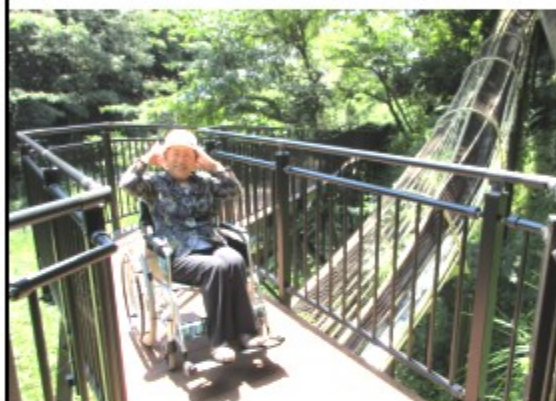


今週の活動から



あつぎこどもの森公園の来園者が10万人を超えました。こどもの森に車いすで行けるかな、と思い、社会福祉協議会から車いすを借りて行ってきました。詳細は次号でお知らせします。

(上：釘丸久子議員)



今回の参議院選挙から選挙権年齢が18歳以上になりました。市内にある大学一カ所でも期日前投票所が開設されたので、そこで投票しました。

(下：栗山香代子議員)

7月の法律相談

7月21日(木) 1時30分～

前日迄の連絡を!

参院選終わる 政治への関心、投票率の向上は

第24回参議院通常選挙が7月10日投票で行われました。

投票年齢が18歳以上となって初めての選挙です。各政党・候補者が若者向けの政策を示しましたが、その効果が投票率の向上につながったのでしょうか。また、全体の投票率はとうだったのでしょうか。

投票率ちよっぴりアップ

期日前投票は投票者の4分の1。投票率は3年前の参議院選挙は49.90%で、今回は50.44%ですから0.55ポイントのアップです。

投票日当日の投票所は43カ所あります。一番高かったのは、毛利台児童館で66.87%、次いで森の里公民館で66.54%。一番低い投票所は42.94%となっています。

また、期日前投票が市内6カ所で行われました。投票機会を拡大する事につながっています。職場の近く

厚木市 参院選挙投票率

	当日有権者	投票者数	内、期日前投票者
男性	95,468人	48,281人	11,607人
女性	89,232人	44,895人	12,150人
合計	184,698人	93,156人	23,757人
投票率	—	50.44%	投票者数に対し25.5%



写真右：市内商店所蔵の写真パネル。左：厚木市教育委員会所蔵



話題あれこれ

ベアトの撮った厚木の写真

厚木市郷土資料館では、8月21日まで、収蔵資料展「みんなのできる「あつぎ百科」物語①人文編」が開催されています。

先日、郷土資料館にチラシが展示されている商店の方から「資料館にある厚木の写真が、家にあるものと似ているけど、ちよっと違う」とお聞きしたので、見せてもらいました。

セピア色の写真がパネルになっていました。この写真について文化財保護課に聞きに行きました。厚木市教育委員会発行の『第九回』の真に文化財保護課に聞きに行きました。写真には厚木や宮ヶ瀬もあります。居留外国人は行動範囲が十里四方と決められていて、宮ヶ瀬はその端っこ。馬に乗っての日帰りコースだったそうです。

幕末から明治初期にかけての当時、外国人はさぞ珍しかったろうから、地域の人たちこそぞ見て行きたかったに違いありません。その人たちが、逆にベアトの撮影時のモデルとして協力したであろうことは想像に難くなく、ちよっと不自然に思われる人物の様子も納得できます。たった1枚の古い写真から、『厚木市史』を手始めに見てみると、いろいろなることが分かって面白かった。

や買物のついでに投票する人も多くいて、期日前投票は投票者の25.5%と全体の4分の1にも上り、前回より若干増えています。

年齢別の投票数などはまだ集計されていませんが、今回の投票年齢18歳への引き下げの効果を今後検証していきたいと思います。

特別展「商家と看板」には、ベアトの撮影した厚木の写真が数枚掲載されています。商店が持っているパネルの元の写真は横浜開港資料館が所蔵しているそうです。左側の写真は厚木市教育委員会が持っている。比べると、いろいろな違いがあります。火の見櫓、道の真ん中にある溝、街並みの様子が違っています。

イタリア生まれでイギリス国籍を有する写真家のフェリーチェ（のちにフェリックス）・ベアトは、クリミア戦争やインドのセポイの反乱、アヘン戦争などの報道写真も撮っています。1863年から21年間、横浜に住んで写真館を営み、横浜や長崎、北海道など、各地の写真を撮っています。